

第21回 旧RD最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日時 平成29年9月11日(月) 19:00~21:20

■場所 栗東市コミュニティセンター治田東

■主な質疑

1. 前回の開催結果の確認について

◇質問無し。

2-1. 平成29年度第1回モニタリング調査結果

◇質問無し。

2-2. H26-S2(2)およびH24-4のダイオキシン類の測定結果について

◇ダイオキシン類の測定フローに基づく処理を行うことにより、ダイオキシン類が損失したり、濃度が高くなったりするとの説明を受けたが、濃度が高くなるとはどういうことか。

→ダイオキシン類を濃縮するために、一旦、固体に吸着させ、その後、もとの試料より少ない量の液体に溶かしますが、その液体の量に変動があれば、もとより濃度が高くなる場合もあると回答しました。

◇内部精度管理試験において、必要な基準を満たさないことは今までなかったのか。また、分析に失敗したのでは。

→今まで基準を満たさなかったことはありません。今回の基準を満たさない原因が、採取から分析までの間の操作にあるのか、採取した水自体にあるのかは特定できませんでした。次回調査でこの2箇所の井戸については、再検査用の試料を採取しておき、回収率が基準を満たさない場合は再検査を行いたいと回答しました。

3. 工事等の進捗状況について

◇底面遮水工の構造でセメント改良土の間にベントナイト改良土を挟んでいる目的はなにか。

→ベントナイト改良土は水を含むと膨らむ性質があり、万が一、セメント改良土を抜けて水が浸透した場合にベントナイトが水を含んで膨らみその穴を塞いでくれる効果があり、施工業者の提案で行っていると回答しました。

◇B工区の黒色物質は有害なものか。また仮に処分場に今回県が採取した試料が出た場合の対応は。

→この物質、硫化鉄の安全性は、物質安全性データシート(MSDS)で確認したが問題ない。また、処分場で硫化水素が発生した場合は事業者に対策をするよう県から指導はしますが、硫化鉄については、何らかの処理をなさないと回答しました。

◇黒色物質のような異様なものが出てきたときは、違法操業が行われたことを疑うことから始めるべきである。また、このような物質が出てきたことは記録に残して教訓とすべきである。

→記録として残し、教訓となり得る題材をつくりたいと回答しました。

◇黒色物質についての梶山委員の見解では、「硫化鉄の「黒色」が全体の10～18%程度で、写真のように真っ黒で一見均一な外観を示すものか、若干疑問があります」とあり、硫化鉄以外にも何か原因があるかもしれないとする見解ではないのか。

→黒色物質として3つの試料（県採取資料、住民採取資料、住民提供写真（試料なし））のうち、今回分析できた2試料について、残りの90%が分からないとのことではなく、「結論として硫化鉄が含まれると推定されるが、大部分が水酸化第2鉄とケイ酸塩等の他の物質である」との見解であると回答しました。

4. 工事の施工方法について

◇鉛直遮水工はどのくらい延びたのか。

→当初の位置から20mくらい延びたと回答しました。